



独立行政法人国立高専機構シンボルマークを制定

独立行政法人国立高等専門学校機構では、独立行政法人として発足したことを機に、高等教育機関である国立高等専門学校への理解を深めてもらうため、わかりやすく親しみのあるシンボルマークを広く一般に公募し、このたび、504点の応募作品の中から、選考の結果、東京都文京区のグラフィックデザイナー井口やすひさ氏の作品を最優秀賞と決定し、去る平成17年12月21日に表彰式を実施し、河野理事長より表彰状等を贈呈した。

受賞作品は、ブルーの地の円に、高専（機構）のローマ字イニシャル「K」をモチーフとして白線で飛鳥（ひちょう）が図案化され、みなぎる若さと技術力のある高専が、5年間の一貫した専門教育を通してあらゆる情報発信の場となることがシンボライズされている。

また、この公募に先立って行われた学生部門の佳作には、建部明香さん（石川高専電子情報工学科（応募当時））、広坂拓也さん、成瀬桂子さん（富山商船高専情報工学科（応募当時））、小野あずささん（福島高専コミュニケーション情報学科）の作品が選考され、機構から賞状及び副賞が贈られた。

制作意図

高専（機構）のローマ字イニシャル「K」をモチーフに、飛鳥（ひちょう）のイメージは高専のあらゆる情報発信地の役割を果たし、豊かな自然環境に恵まれた地域の学び舎で生き生き共生し、未来を見つめる広い視野と実践的技術をマスターし、イメージカラーのブルーは、みなぎる若さと技術力、5本の白線ラインは5年間の一貫した専門教育（実験・体験）方針をシンボライズすると共に、生徒と高専の飛翔・発展と様々な分野で輝かしい躍進、活躍する明るい元気な姿を表しています。